

議会報告「市民との意見交換会」記録

日時：令和5年10月30日（月）10時00分～11時30分

場所：議員協議会室（議会棟2F）

担当：B班 建設経済厚生委員会（7名）

参加者：加西市いずみ会（13名）

1. 開会
2. 議長挨拶
3. 団体代表挨拶
4. 出席者自己紹介
5. 報告及び意見交換
6. 閉会

第1部 議会報告

○令和5年度9月議会の主な審議内容について報告

問) 学校給食費37万1,000円のオーガニックのお米は播磨農業高校で作っているのか。

答) 播磨農業高校で作った無農薬のお米を出すことになっている。

問) スクールサポーター事業について、アシスタントには資格が必要か。

答) 教員免許が必要である。スクールアシスタントを各校に1名以上の配置を予定しており、増員するものである。

第2部 意見交換会

議会) 若い頃は食べ物に無関心だった。20代から太っていき、脂肪肝と診断された。40代で痛風、15年前には高血圧であった。薬を飲みながら正常値になっている。若い頃から食育をしてもらったら良かったと感じている。

いずみ会) 当時、いずみ会の味は薄くて美味しくないと言われていた。出汁をしっかり取っていないことが原因と考えた。無添加の出汁パックで出汁を取るようにしたことで味が薄

くても美味しく食べられるようになった。加西市は農業の町で昔は旬の野菜を食べていた。旬の野菜は栄養価が高く、美味しいと考えている。

歳を取ると内臓も歳をとり、消化や吸収の機能も落ちる可能性がある。若いときよりも行動力が落ちて、エネルギーの消費ができず、体重も増えていく。

自分の健康を意識することが大切だと思っている。食べたいものだけを食べているとメタボになっていく。

フェルトで作った健康ピラミッドを11園（全園）に配った。当時、いずみ会の先輩方は100人以上の会員がいて、熱心に活動されていた。今でも健康ピラミッドを使ってくださっているこども園がある。

いずみ会) 有機野菜はミネラル分がより含まれている。栄養が多いものを食べることが大切だと考えている。茄子は皮に栄養があり、水にさらすと栄養が流れ出てしまう。調理法によって野菜の栄養が流れてしまう。農薬は怖く、使わない方が良く考えている。

議会) コロナ前、高齢者向けの喫茶の立ち上げのために上宮木町へ視察に行った。そこで塩分の測定をされていた。測定器の値段はいくらか。

いずみ会) 県から送られてきている。塩分計も様々な種類がある。

議会) 他の健康教室を行っているが、いずみ会は勉強会に来ていただけるか。

いずみ会) 行くことができる。

いずみ会) サラダ油は身体に悪いと考えている。サラダ油を作るのに身体に有害な物質ができる。細胞膜もほとんどが油でできているため大切である。こめ油が良いと考えている。給食でこめ油を使ってほしい。こめ油を使う家庭も増えている。

いずみ会) 若い世代には時短料理が求められている。若い世代に時短料理がどれだけ受け入れられるのか？昆布や鰹から取った出汁とインスタントの出汁を学生が飲み比べたらインスタントの出汁の方が美味しいと答える。冷凍食品も豊富になっている。冷凍食品を工夫して時短料理で完成させる料理が増えている。

いずみ会) 一日 350 グラムの野菜を食べる必要がある。健康祭りなどで市として健康啓発を行ってほしい。小野市ではいずみ会と合同でベジタブルチェックが行われている。加西市もポイント事業で取り組んでもらっている。いずみ会も幼児からお年寄りまで健康増進の活動をしたら良いと感じている。

議会) ローリングストックについて教えてほしい。

いずみ会) 購入している食品を古い物から使っていき、新しい物を補充しておくことで災害時にも備蓄されている状態が保てる。3日分あれば災害時に困らない。パッキングは

お湯さえあれば料理ができて、お米を炊くこともできる。ローリングストックは防災のイベントの中で提案したものである。

いずみ会) 合成アミノ酸が入っているためインスタントの出汁は美味しく感じる。化学調味料が入った物を食べない方が身体には良い。若いお母さんは知らない方も多いため知識として広げたいと考えているが、会員が高齢化している。若い会員を増やしたいが、ボランティアで入ってくださる方も若くて70代になっている。若い世代に会員になってもらう良い方法はないか。

議会) 時短料理や栄養の知識のことなど若い世代に寄り添ってもらっていることに感謝する。今はコンビニに行けば物が買える時代で家事、育児、仕事をしながらの食事は作業的になっていると感じている。有機野菜やSDGsなどの観点もあるが、まずは食べることへの感謝のところから見直す必要があると感じている。情報はネットで取りに行くようになっていく。リアルの場合には情報交換、体験などを求めているので、そういった観点で取り組んでもらう方が良いと考えている。地域で野菜を食べられることへの感謝と情報を選択し家庭に取り込んでいける学びの場があると良い。SNSなどの情報発信が必要だと感じているが、いずみ会では情報発信されているか。

いずみ会) いずみ会は閉鎖的だった。口コミだった。広報に載せている。公民館に置いている。会報を2000部刷ったが、コロナ渦であったため閲覧できなかった。閲覧をしたら良いか。会員と教室に来た人くらいで、そこから広がらない。

議会) いずみ会は認知度が低いと感じている。市との連携が必要ではないか。

いずみ会) ホームページを作って情報発信するのはどうか。

議会) 活動を見てもらうためにホームページがあり、それを伝える手段としてSNSがある。加西市で取り組んでいる子育てに優しいまちの情報発信に載せてもらうのも良いのではないか。

事務局) いずみ会には実際にホームページがある。若い人がみる仕組みづくりが必要だと考えている。

議員) インターネット検索したが、いずみ会のホームページにたどり着けないため、SEO対策など見つけてもらえるようにする必要がある。生成AIで検索する時代になるため、「加西市の食育」と検索した際にいずみ会の取り組みが出てくるようにする必要がある。

議会) 同居世帯が少なくなっている。その家の味を繋いでいくことが難しくなっている。繋いでいく必要がある活動である。今の健康課で若い方が事務局をしている間に若い世代向けの情報発信を作ってもらっても良いのではないか。こども園に入っていくことも続けていきたい。

議員) 味噌汁を作る際に通販で昆布だしを購入し、味噌の量を少なめにしたら美味しかった。通販で購入する出汁でも良いと感じた。

いづみ会) アミノ酸など化学調味料が入っていないものを選んでもらう方が良い。

いづみ会) 味噌汁は飲むものという考えがあるが、ここ最近はおかず味噌汁というものがある。野菜などの具材を沢山いれて作る味噌汁のことである。

いづみ会) 血圧が低くなったときに市の案内で検診を見つけた。まずは自分の健康のために健康講座を受けて家族に伝えたらよいと考えていた。当時の会長から「卒業されたらいづみ会に入って活動してください」と言われ、入会することになった。養成講座に参加してから入会になるためハードルが高い。自分たちの研修のために参加する人が増えている。

誰かのための活動をする人が減ってきている。会員研修を増やして楽しくやっという話をしている。もともとは県のいづみ会であったため市からすると県からももらったものである。市から受け入れてもらえていないと感じている。さらに連合婦人会も同じような活動をしている。

いづみ会) もともとは勉強したいよりも料理がしたいで入ってきた。リーダーシップは苦手。若い世代はボランティアを選ばない人が増えている。自分のことをして周りのために何かをすることはない。

いづみ会) 市議会へのどのような要望を挙げていけるのか。

議会) 議員は決定権を持っていない。要望を通じて、市役所に伝えていくことになる。

いづみ会) 料理教室などへの参加費を負担してもらえるように市には予算をつけてほしい。議員には要望をしてほしい。

議会) 閉会の挨拶。